

水稻情報

(第6号)

平成 29 年 7 月 26 日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

○出穂期は平年並になると予想されます。(8月2日頃)

○出穂するまで飽水管理、出穂後は湛水管理を実施するとともに、病虫害防除を徹底し、高品質で美味しいあおば米を生産しましょう。

○出穂期から 20 日間は湛水管理、その後、収穫の 5~7 日前まで間断かん水

○病虫害防除の徹底により斑点米被害を防止 ○雑草の穂が出ないよう、草刈りの徹底

○適期刈取りで胴割米の発生防止

○雑草地付近のほ場では、随時防除の励行

○適正な乾燥調製により品質低下を防止

1. 出穂後の水管理

◎出穂後 20 日間は、水を切らさず、2~3cm 程度の湛水状態を保ち、稲体の活力を維持させましょう。

◎フェーンが予想される場合は、あらかじめ入水しましょう。

◎収穫の 5~7 日前までは、「間断かん水」を行い、適正な土壤水分を保ちましょう。

出穂期

出穂 20 日後

【出穂までは飽水管理】

「ほ場にたっぷり入水→自然減水→足跡の水が無くなる前に入水」を繰り返す。

【出穂期から 20 日間】

湛水状態(水深 2~3cm 程度)を保ちましょう。

【収穫 5~7 日前まで】

「間断かん水」を行い、落水を急がないようにしましょう。

出穂後 20 日間の湛水管理

2. 病虫害防除の徹底

昨年に引き続き、今年も斑点米の原因となる

カメムシ類が大発生しています。防除は適期に確実に！

出穂期	コシヒカリ (5/11 植) 8/1~8/3		てんこもり (連休植) 8/3~8/5	
	粉剤体系	液剤体系	粉剤体系	液剤体系
防除時期	7/29~8/1		7/31~8/3	
出穂始期	ラテラワイド 粉剤 DL	アミスター トレボン SE	ラテラワイド 粉剤 DL	アミスター トレボン SE
穂揃期	8/5~8		8/7~10	
	ラブサイトキップ 粉剤 DL	ラブサイトフロアブル キップフロアブル	ラブサイトキップ 粉剤 DL	ラブサイトフロアブル キップフロアブル
傾穂期	※【随時・カメムシ多発地区】 8/12~14		※【随時・カメムシ多発地区】 8/14~16	
	スターカ粉剤 DL	スターカ液剤 10	スターカ粉剤 DL	スターカ液剤 10

※カメムシ多発地区では、傾穂期にも必ず防除しましょう。

○10a 当り散布量：粉剤体系は 4kg (スターカ粉剤 DL は 3kg)、液剤体系は 1000 倍液 (100~150L)

○畦畔まで薬剤がかかるよう散布しましょう。

【畦畔等の雑草対策】

○カメムシが好むイネ科雑草の穂が出ないよう、草刈り等を徹底しましょう。

(およそ 3 週間間隔)

○やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田防除の直前に行いましょう。

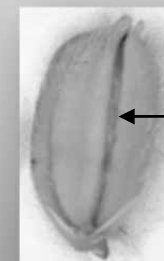
農業散布の際は、周囲のほ場へ飛散しないように注意しましょう！



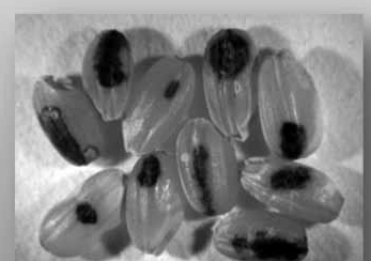
アヒゲカメムシ



アヒゲカメムシ



割れ粒



割れ粒部分からの吸汁によってつくられた斑点米

1,000 粒に斑点米が
2 粒以上混入すると
2 等以下に格下げになります！

裏面につづく

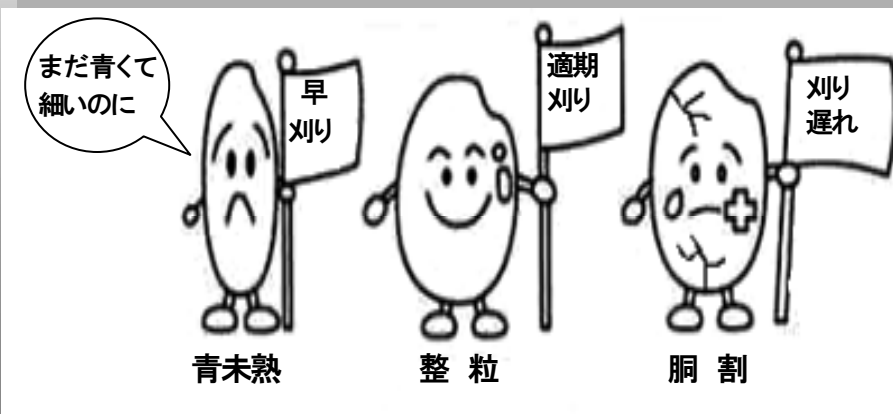
3.適期刈取り

～早めに収穫を開始し、胴割米の発生を防ぎましょう！～



「**籾黄化率 85~90%**」が刈取適期
上位3番目と4番目の二次枝梗籾が黄化した頃

* 高温登熟になった場合は、黄化率80%から収穫を開始し、刈遅れによる胴割れを防ぐ。



刈取時期の目安

- ・早生：出穂後35日頃
(H25年産の高温登熟では32日頃)
- ・中生：出穂後40日頃
(H25年産の高温登熟では35日頃)
- ・晩生：出穂後45日頃
(H25年産の高温登熟では40日頃)

4.最後の仕上げ、乾燥調製

～玄米水分は14.5%~15.0%に！～

1 過乾燥米の発生防止

- ・外気温が高い場合は送風のみとし、急激な乾燥を避ける。
- ・水分が17%を切ったら、15~20分間隔で、水分測定する。
- ・青米の混入割合を見て停止水分を決定する。

【乾燥機と停止水分の関係】

100粒中の青米数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0~5粒	15.0~15.5%	乾く (-0.5%)
6~10粒	14.5~15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0~14.5%	もどる (+0.5%)

2 肌ずれ米とモミ混入の防止

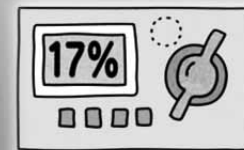
- ・乾燥が終わった籾は、常温に下がった状態で、水分を確かめてから籾摺りする。
- ・玄米に籾が混入しないように、籾摺機を調整する。

3 屑米の除去

- ・1.9mmのふるいを用い、機種ごとの適正な流量を厳守する。

4 適正な量目

- ・皆掛(袋込み)重量は、1袋当たり30.5kgにして出荷する。



水分測定は、
常温に冷してから

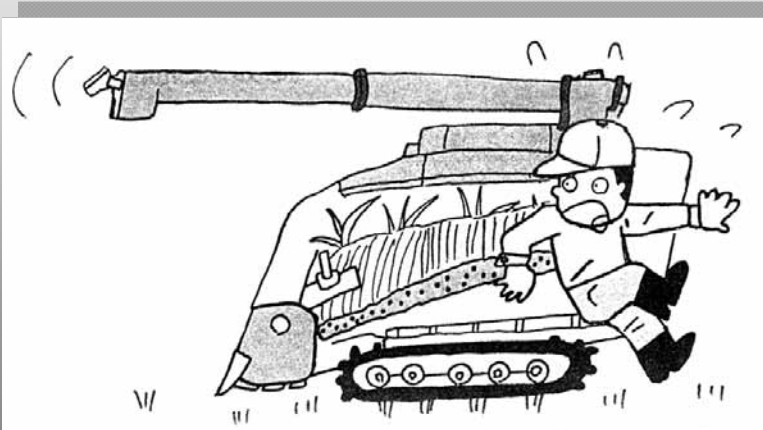


5.農作業の事故防止

～気の緩み 慣れた作業に 潜む事故

事故のない 豊かな実りを 富山から～

※ コンタミ(異品種混入)防止・異物混入防止のため、コンバイン・乾燥調製機械類、また各種施設の清掃の徹底をお願い致します。



コンバインの調整は必ずエンジンを止めて



乾燥機の使用前に清掃・点検を

とやまGAP
(富山県適正農業規範)
に基づき、安全に
作業しましょう。

「水稻栽培履歴報告書」と「GAPシート」の提出期限のお知らせ

- ・早生品種は8/14(月)までに提出してください。
- ・中生、晩生品種は8/21(月)までに提出してください。

水稻情報第7号は、
8月下旬の発行予定です。